

医療法人陽心会 大道中央病院

パートタイム勤務者の活用による業務改善の試み～病棟業務改善計画



病床数 224 床 一般病棟 49 床 地域包括病床 60 床
回復期病棟 115 床
職員数 254 名 看護師 94 名 看護補助者 33 名

《課題・背景》

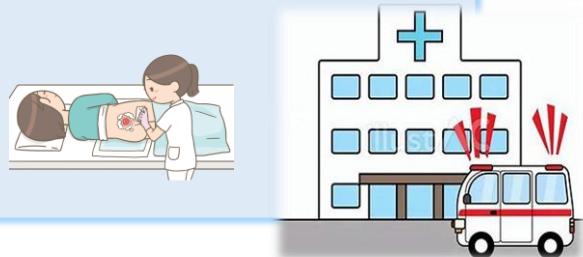
- ◆固定チームナーシングを導入
受持ち患者を見ながら緊急入院の対応、処置や指示受けまで行う
→患者の処置が遅れたり継続したケアができない
→超勤が発生
- ◆パートタイム勤務者に対する緊急入院

《目的・目標》

- 1 パートタイム勤務を導入、入院担当看護師を配置することで入院の対応を円滑にする
- 2 処置担当看護師を配置、受持ち看護師と連携して、処置の評価も行う
- 3 パートタイム勤務者の教育を行い、業務をスムーズにする

《取組み内容》

- 1 パートタイム勤務者に入院(緊急・予定)や転棟などの業務を担ってもらうため、業務指導を行う
→入院・転科転棟のマニュアルに沿って指導
- 2 救急車の受入れ対応に関する教育を行う
→パート勤務者にも e ラーニングを導入
- 3 各種処置や外来業務マニュアルの構築



《成果・効果》

- ① パートタイム勤務者を活用による効果
 - ▶病棟全体の残業時間数が減少した
年間残業時間が 250 時間から 200 時間に短縮した
(月換算で 20 時間が 16 時間の残業となる)
 - ▶パートタイム勤務者が入院対応を行うことで
入院患者が増加しても残業時間数は減少している。
緊急入院患者数の推移
2018 年度 277 名 2020 年度 479 名



《ナースセンターから一言》

- ◎処置や入院患者の受け入れ、救急車対応など、受持ち看護師が一人で担当するには無理がありますね。
- ◎チームナーシングの利点を残しつつ、パートタイムの看護師をうまく活用し、業務の負担軽減を図る取り組みは評価できます。